秋の演奏会

Performance schedule

1回目17:45　2回目18:30　3回目19:30

11月13日 Nov .13	11月14日 Nov .14	11月15日 Nov .15	11月16日 Nov .16	11月17日 Nov .17	11月18日 Nov .18	11月19日 Nov .19	11月20日 Nov .20	11月21日 Nov .21	11月22日 Nov .22	11月23日 Nov .23	11月24日 Nov .24
箏 Koto	箏 Koto	篠笛 Shinobue	篠笛 Shinobue	篠笛 Shinobue	箏 Koto	篠笛 Shinobue	篠笛 Shinobue	篠笛 Shinobue	箏 Koto	箏 Koto	箏 Koto
三好晃子 Miyoshi	三好晃子 Miyoshi	森・原 Mori Hara	小林 村上	村田 Murata	三好晃子 Miyoshi	村上 Murakami	森 Mori	原 Hara	三好晃子 Miyoshi	宇山 葵 Uyama	三好晃子 Miyoshi
11月25日 Nov .25	11月26日 Nov .26	11月27日 Nov .27	11月28日 Nov .28	11月29日 Nov .29	11月30日 Nov .30	12月1日 Dec .1	12月2日 Dec .2	12月3日 Dec .3	12月4日 Dec .4	12月5日 Dec .5	12月6日 Dec .6
箏 Koto	篠笛 Shinobue	箏 Koto	箏 Koto	篠笛 Shinobue	箏 Koto	篠笛 Shinobue	箏 Koto	篠笛 Shinobue	箏 Koto	篠笛 Shinobue	篠笛 Shinobue
宇山 葵 Uyama	立石 雷 Tateishi	宇山 葵 Uyama	宇山 葵 Uyama	立石 雷 Tateishi	宇山 葵 Uyama	立石 雷 Tateishi	宇山 葵 Uyama	立石 雷 Tateishi	三好晃子 Miyoshi	立石 雷 Tateishi	立石 雷 Tateishi

予告なしに演奏者が変わる場合がございます
Performers may change without notice.

Akiko Miyoshi (三好晃子)

箏曲家。生田流京都下派。祖母、故三好敦子（生田流箏曲家） 父、三好芫山（都山流尺八奏者）より幼少の頃より箏曲・地唄三味線・音楽基礎を学ぶ。故藤井久仁江師（人間国宝九州系地歌）にも師事。日本国内のみならず、外務省の文化使節団としてドイツ・シリア・レバノン・北京・他、海外公演。ドイツ・ケルン市にてヘルツォーク大統領の御前演奏。
静岡文化芸術大学主催 新世紀メディアアートフェスティバルにてコンピュータ音楽と競演（長嶋洋一作曲 新曲『tegoto』）ドイツにて、国際学会および招聘公演。京都市より要請で『おこしやす京都』を演奏・録音（新曲：作曲 藤林由里）。京都のみに伝わる柳川三味線の数少ない演奏者として伝承継承に力をいれNHK FM放送邦楽のひとときにて演奏。
古典伝承にも貢献し若い世代の育成に尽力を尽くす。（社）京都當道会所属　琴秀会主宰

@AKIKO_MIYOSHI

Rai Tateishi(立石 雷)

篠笛奏者。篠笛を基盤に多様な管楽器を演奏し、風土や身体感覚に根ざした音のあり方を探っている。
太鼓芸能集団「鼓童」では国内外での公演を経験。退団後は振付師Sidi Larbi Cherkaoui、歌舞伎役者人間国宝・坂東玉三郎、市川團十郎、Phew、山本精一といった表現者との共演を重ねる一方、リズムアンサンブルgoat(jp)、多民族芸能楽団わたら、ANTIBODIES Collective、青森・八太郎えんぶり組など、伝統と実験の交錯する現場に身を置いてきた。
現在は滋賀県高島市の山間に暮らし、自然とともにある生活と制作を続けている。
近年では、伝統的手法にエレクトロニクスを融合させた独自の音楽表現を展開し、goatやYPYなどで知られる日野浩志郎のプロデュースのもと、デビューアルバム『Presence』をレーベル「NAKID」よりリリース。存在の「いま・ここ」を可視化／可聴化する音の軌跡は、聴き手を沈黙と生成のあいだに連れ出す。

@RAI_TATEISHI

Aoi Uyama (宇山 葵)

箏奏者・作曲家。生田流箏曲を軸に、古典音楽の美しさと現代的な感覚を重ね合わせながら、箏パフォーマンスを行う。
東京藝術大学邦楽科卒業。伝統的な演奏技法を大切にしながら、舞台芸術、映像、電子音楽など多様な分野との協働を通して、現代における伝統音楽の新たな表現を模索してきた。
古典のみならずオリジナル楽曲の演奏を中心に、作曲、編曲なども手がける。和楽器アンサンブルに加え、洋楽器や電子音楽との共演にも取り組み、国内外で公演を行う。
テレビ番組出演、アジア・ヨーロッパでの海外公演、大阪・関西万博2025でのソロパフォーマンス、能楽堂での主演コンサートなど、多様な空間で独自の舞台表現を展開している。
また、日本文化や和の感性を現代的な視点で発信する活動にも力を入れており、演奏空間や衣装美術を含めた総合的な表現を探求。
ミスジャパニーズ2024グランプリ受賞。

@OKOTO_AOI